



WEEKLY REPORT

2008-2009 No.15 2008年10月16日

会長◆鈴木安之 会長エレクト◆臼井 浩 副会長◆矢部房男 村田典昭
 幹事◆三宅 謙 SAA◆桐田吉彦 会計◆市川 浩 ◇広報委員長:石田 隆
 E-mail:zushirc@sage.ocn.ne.jp Website:http://www.zushi-rc.com/
 例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~
 例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL:046-870-6651
 事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX:046-873-0226

本日の進行(12:30)

石井照周氏
「ビールの話」

一次回のお知らせ

10月23日(木)(18:00)

寄付金・助成金フォーラム
(海 狼)

◀ 第 2273 回 例会記録 2008年10月9日 ▶

出席報告	会員数 42 名(出席免除 6 名)	出席数 24 名	出席率 66.67%	前回修正出席率 82.86%
ゲスト	牧島 功 県議会議員、明治大学逗葉支部の皆様 石井様(劇団なんじゃもんじゃ)			
ピジター	浅見秀一君(横浜西)			

■ 会 長 談 話 鈴木 安之 会長

10月5日の地区大会には多数の会員の出席、ありがとうございました。米山記念奨学会の寄付3000万円達成のクラブとして表彰されましたので報告します。

本日は、牧島県議会議員に「廃県置州」の話をして頂きますが、私も著書を読ませて頂きました。国会は解散が迫っていますが、政界再編でもない限りどの政党に代わっても変わらないように思えます。牧島さんの言う「廃県置州」で、州という政府によって国が運営されるようにならなければなかなか変わらないのではないかと。このままでは国の借金は返済しきれないと思います。

道州制をひいて独立性を持った州政府を作って、そこでの競争により、初めて財源が生まれるのであって、国が一本やりでやってきた金太郎飴の制度では駄目で、この本を読み、地方主権が必要ではないかと興味深く思いました。

前原誠司氏の「日本を元気にする地方主権」という本も面白く読みました。もう中央集権ではどうにもならない、という気がします。

牧島さんのお嬢さんのかれんさんは、神奈川17区で河野洋平氏の後継となりますが、とても優秀な方です。

■ 報 告

幹事報告 *ROTEX 懇談会/学生オリ工開催:11/8(土)13:00~ *国際交流フェスティバル 2008 開催:10/26(日)9:00~(交換学生・叔トファミリー) *地区UP サイト職業奉仕委員会のページ運用開始案内:1.資料・事例・報告書 2.職業奉仕 Q&A 3.職業奉仕語録 4.職業奉仕の小史 5.道徳律の小史 6.歴史的文献の紹介 *インターアクト年次大会登録のお願い:11/23(日)9:00~藤沢産業センター *地区大会選挙人会賛否投票結果報告(別紙)



葉山重康氏入会(総合建築業)



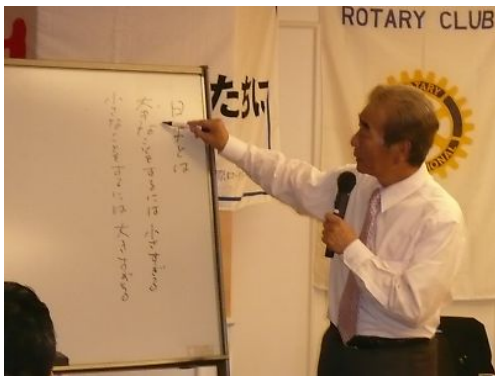
ピジター・ゲストの方々

10月23日(木)例会

18:00~ 海狼

例会後 フォーラム

「寄付金・助成金について」



我が国日本は、「大きいことをするには小さい」「小さいことをするには大きい」と思います。色々な規制

がちょうど良い国づくりをするのを邪魔しているのが現実です。

今の日本をより住みよい国にするには、国、県、市町村という縦の構造から横の構造へと変えることが

必要です。この為には日本は「廃県置州」すなわち「道州制」を取り入れシンプルにすべきだと考えます。近年、地方分権が叫ばれていますが、なかなか思うようにはいきません。なぜならば権限（責任）だけを分けても、財源が分けられない。それでは進まないのも当然でしょう。私は本当の意味での分権には三原則があると思います。①権限 ②税源（財源） ③人間 この三原則が揃ってこそ正しい分権がなされるでしょう。特に税の問題は大きく、簡単ではありませんが、「道州制」を敷く事によって「三原則」を確立し、住みよい日本国をつくるのが政治の使命であると考えます。（卓話要旨 藤吉会員 記）

牧島 功著書：「バイブル道州制 一廃県置州への挑戦」

■ ニコニコBOX (44,000円)

牧島 功様…本日はよろしくお願いします。

浅見秀一君…久しぶりです。よろしくお願いします。

鈴木(安)君…①葉山重康さんは本日入会式です。②牧島県議をお迎えして。

矢部(房)君、桐田君…牧島県議をお迎えして。

三宅君、山口君、横山君、松井君、菊池君、山本(由)君、

矢島君…牧島県議、スピーチよろしくお願いします。

臼井君…牧島先生、ようこそ。

山科君…牧島様をお迎えして。結婚記念日のお祝い。

山本(三)さん…牧島大先輩、宜しくお祝い申し上げます。

船津君…牧島県議スピーチよろしく。明大逗葉支部の方々、ようこそ。

藤吉君…地区大会お疲れ様。結婚記念日のお祝い。

桐ヶ谷君…①地区大会で長寿会員の受賞。②牧島先生ようこそ。③葉山さんの入会を歓迎。

矢部(光)君…葉山重康様、入会おめでとうございます。牧島県議をお迎えして！

渡邊君…葉山さん、入会万歳。

湊屋君…良い陽気になりました。

野手君…久しぶりの出席です。

坂井君…ノーベル賞受賞の方々のインタビューを見て本来の日本人の姿を見る思いがしました。

村田君…世界同時不況！反転のキッカケは日本かも。

ニコニコBOX 本日合計 ￥ 44,000

累計 ￥ 594,000

ご協力ありがとうございました。

SS コラム SS

▼縦割りと横割りの社会▼

牧島 功氏のスピーチに、縦割から横割りの社会への脱皮のお話がありましたが、地方分権では最も徹底しているアメリカ社会のルールについて、ボストン大学の法学院に学ぶ若い法律家がエッセイの中で横社会特有のルールがあることを紹介している。

1. 飲酒について

ボストンは地ビールで有名な町だが、飲酒に関する規制は厳格に運用されている。21歳未満の飲酒は法律で禁止されているが、店で酒を注文するときは、証明写真付きの身分証明書を提示して21歳以上であることを証明しなければならない。飲酒のマナーについても、街中で泥酔している人を見たことはないの、飲酒のマナーは厳格に守られているようだ。

2. 挨拶について

挨拶は大事だ。「ハウアーユー」「ファイン サンキュー ハウアーユー」という有名な挨拶の英会話は、日常生活で多用される。つい1時間前にあったばかりの友人と再会した時も、学食の店員さんにサンドイッチのお金を払うときにも、顔を合わせれば「ハウアーユー」だ。こんな時まで一々機嫌を尋ね合わなくても、と少々不自然に感じなくもないが、「ハウアーユー」の問いを無視した人を見たことはないの、私も一生懸命元気よくご機嫌をお尋ねすることにしている。

所変わればルールも変わる、ですね？

坂井 宰